


【件名】	道路災害防除工事（3南西の1）	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	東京都八王子市下恩方町地内外1か所	【受注者名】	建治建設株式会社	
【工期】	令和3年10月4日から令和4年12月8日まで	【主たる技術者名】	管理技術者 橋本 秀一	

## 【工事概要】

521-2上斜面（下恩方町地区）	
高強度ネット工	1,471 m <sup>2</sup>
エネルギー吸収型落石防護柵工	133.0 m
521-21Ⅲ下斜面（上恩方町地区）	
コンクリートブロック積擁壁工	176 m <sup>2</sup>

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

本件は急峻かつ狭小な道上斜面上での落石防護工と、道下側の道路擁壁設置工からなるが、受注者は厳しい現場条件に適合した施工方法を提案するなど、技術力をいかんなく発揮し施工にあたった。工程管理や安全管理にも熱心に取組、早期に無事故で工事を竣工させることができた。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

- ◇ 苦労した点  
施工箇所に高圧電線があり、樹木伐採作業時に近接する道路側に倒さないよう、また電線に接触させないように介錯ロープを使用するなどして工事安全に留意しました。
- ◇ 特に工夫した点  
工期短縮を図る為、作業班の増班や、複数の作業が出来る作業員(多能工)で作業を行うことで工程のロスをなくしました。作業手順を綿密に検討し工事安全に努めました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感  
近隣の方々からねぎらいの言葉をいただくことも多く、やりがいを感じました。防災工事だったこともあり、完成時には地域の安全に貢献できたことに達成感を感じました。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと  
公共工事は地域の安全性や利便性につながっていて、地域社会に貢献でき、やりがいも達成感も大きい仕事だということを伝えたいです。



道上斜面上での介錯ロープを用いての伐木状況